

国語（現行小学校学習指導要領による場合）

以下の学年は、新学習指導要領の漢字配当表で指導する。

【第4学年】

（新しく追加 20字）

茨・媛・岡・渦・岐・熊・香・佐・埼・崎・滋・鹿・縄・井・沖・栃・奈・梨・阪・阜

（5年→4年へ移行 4字）賀・群・徳・富

（6年→4年へ移行 1字）城

【第5学年】

（4年→5年へ移行 21字）

囲・紀・喜・救・型・航・告・殺・士・史・象・賞・貯・停・堂・得・毒・費・粉・脈・歴

【第6学年】

（4年→6年へ移行 2字）胃・腸

（5年→6年へ移行 9字）

恩・券・承・舌・銭・退・敵・俵・預

社会（現行小学校学習指導要領による場合）

【第3学年】

下記の内容（現行小学校学習指導要領）を必ず指導する。

○内容（1）ア 身近な地域や市（区、町、村）の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物など

○内容（2）ア 地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること

イ 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり

○内容（4）ア 関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること。

※「災害」については、「火災」を取り上げる。

イ 関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていること。

○内容（5）ア 古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子

以下の学年は、下記の箇所を新学習指導要領で指導する。

【第5学年】

○「世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解する」

→領土の範囲については、竹島や北方領土、尖閣諸島が我が国の固有の領土であることに触れること。

算数（現行小学校学習指導要領による場合）

新学習指導要領で示されている下線の箇所を、以下の学年で指導する。

【第3学年】

○C測定については、重さの単位のトン（t）について触れるとともに、接頭語[キロ（k）やミリ（m）]についても触れるものとする。

【第4学年】

○数と計算 ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知ること。

○面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の実面積の求め方を考えるとともに、面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察すること。

○変化と関係 簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知ること。

【第5学年】

○図形 体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えるとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察すること。

○変化と関係 速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めること。

※現行小学校学習指導要領「数と計算」の「乗数や除数が整数である場合の分数の乗法及び除法の意味について理解し、計算の仕方を考え、それらの計算ができること」は省略する。

理科

現行学習指導要領で示されている、以下の下線の内容を省略する。

【第4学年】

○A（3）電気の働き 光電池を使ってモーターを回すことなどができること。（6年で学習）

【第5学年】

○B（2）動物の誕生 魚は、水中の小さな生物を食べ物にして生きていること。（6年で学習）

【第6学年】

○A（4）電気の利用 電熱線の発熱は、その太さによって変わることを（中学2年で学習）

外国語活動

【第3学年及び第4学年】

下記の箇所を新学習指導要領で必ず指導する。

○（知識及び技能）英語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くこと。

○言語活動に関する事項

ア 聞くこと

（ア）身近で簡単な事柄に関する短い話を聞いておおよその内容を分かたりする活動。

（イ）身近な人や身の回りの物に関する簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動。

（ロ）文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体で書かれた文字と結び付ける活動。

イ 話すこと〔やり取り〕

（ア）知り合いと簡単な挨拶を交わしたり、感謝や簡単な指示、依頼をして、それらに応じたりする活動。

（イ）自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、好みや要求などの自分の気持ちや考えなどを伝え合う活動。

（ロ）自分や相手の好み及び欲しい物などについて、簡単な質問をしたり質問に答えたりする活動。

ウ 話すこと〔発表〕

（ア）身の回りの物の数や形状などについて、人前で実物やイラスト、写真などを見せながら話す活動。

（イ）自分の好き嫌い、欲しい物などについて、人前で実物やイラスト、写真などを見せながら話す活動。

（ロ）時刻や曜日、場所など、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物やイラスト、写真などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを話す活動。

【第5学年及び第6学年】

現行学習指導要領の内容に加え、新学習指導要領に示されている下記の箇所を必ず指導する。

○ア 音声

次に示す事項のうち基本的な語や句、文について取り扱うこと。

（ア）現代の標準的な発音

（イ）語と語の連結による音の変化

（ロ）語や句、文における基本的な強勢

（ハ）文における基本的なイントネーション

（ニ）文における基本的な区切り

○イ 文字及び符号

（ア）活字体の大文字、小文字

○エ （ア）文

e 代名詞のうち、I、you、he、sheなどの基本的なものを含むもの

f 動名詞や過去形のうち、活用頻度の高い基本的なものを含むもの

○エ （イ）文構造

a 〔主語＋動詞〕

b 〔主語＋動詞＋補語〕のうち、

名詞

主語＋be 動詞＋ 代名詞

形容詞

c 〔主語＋動詞＋目的語〕のうち、

主語＋動詞＋ 名詞

代名詞

○言語活動に関する事項

イ 読むこと

（ア）活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動。

（イ）活字体で書かれた文字を見て、その読み方を適切に発音する活動。

（ロ）日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする掲示やパンフレットなどから、自分が必要とする情報を得る活動。

（ハ）音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、絵本などの中から識別する活動。

オ 書くこと

（ア）文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動。

（イ）相手に伝えるなどの目的を持って、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動。

（ロ）相手に伝えるなどの目的を持って、語と語の区切りに注意して、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ基本的な表現を書き写す活動。

（ハ）相手に伝えるなどの目的を持って、名前や年齢、趣味、好き嫌いなど、自分に関する簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動。

生活 音楽 図画工作 家庭 体育

全部または一部新学習指導要領で実施できる。

特別の教科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動

新学習指導要領で実施する。